発行月：平成25年9月　家族新聞　第10号

地震防災教育 家庭の備えから

防災、減災

発行所：はやぶさ地防会
編集者：代表者 髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878
FAX 0561-51-2879

災害ボランティアコーディネーター尾張旭 マインドフェアーでスタート

平成二五年八月三日(土)午前十時渋川福祉センターで初めての展示参加をいたしました。当日は大勢の参加者で賑わい、混雑をしていた。災害ボラ尾張旭は三階の入口近くにパネル展示と、リュックサックにペットボトルを入れて、各々のリュックサックには書き入れて重さを体験するコーナーを設けました。

前日からの準備で当日を待ちました。この企画が大成功スタンプラリーで子供達も育に担ぐことで重さを確め、リュクの中身を考える参考にしていた。成功率80点。

開始直前朝の挨拶Tシャツが目立つこと。

◀水野市長も体験

中学生も10kgを担で体験

あまり水ものばかりだと重くなるだけ。もっと軽くて貴重品を入れること。▼

◀走ったり、歩たり高齢者は8kg位までがよい。